

令和5年度

柿生保育園 保育計画資料



元気のよい子ども

心の豊かな子ども

やる気のある子ども

*職員紹介

*令和5年度の保育計画

- 保育重点目標について
- 全体的な保育計画について
- 乳児保育のポイント
- 幼児保育のポイント
- 健康管理について
- 保育園の給食について
- 子どもたちの安全を守る取り組み

*年間行事予定について

発行日：2023年4月28日

令和5年度 職員紹介

	鈴木 錠	理事長	社会福祉法人 鈴保福祉会
--	------	-----	--------------

《柿生保育園 職員》

担当クラス	氏名	職種	備考	
	輿水 邦夫	園長	保育相談責任者	
	小島 裕司	事務長	連携園コーディネーター・衛生管理者	
	小畑 敦子	統括主任保育士	子育て相談及び受付窓口	
	宅石 由枝	主任保育士	子育て相談及び受付窓口	
0歳児 つくし組	遠藤 紗綾香	副主任保育士	0歳児クラスリーダーおよび乳児統括リーダー	
	園田 公美	保育士		
	青木 萌	保育士		
	牛尾 楓花	保育士		
1歳児 ちゅうりっぷ組	梶 久美	保育士	1歳児クラスリーダー	
	山田 仁佳子	保育士	発達支援コーディネーター	
	金城 桃花	保育士		
	湯澤 海音	保育士		
	長岡 理香	保育士		
2歳児 たんぽぽ組	阿部 梨江	保育士	2歳児クラスリーダー	
	長谷川 由衣	保育士		
	塚田 杏月	保育士		
	小宮 愛未	保育士		
	伊藤 恵美	保育士		
3歳児 すみれ組	横倉 佑味	保育士	3歳児クラスリーダー	
	平澤 淳子	保育士		
	すずらん組	森山 真菜絵	保育士	
		中山 佳奈	保育士	
4歳児 ひまわり組	小池 綾恵	保育士	4歳児クラスリーダー	
	見崎 裕子	保育士		
	新野 千奈	保育士		
	遠藤 瞳	保育士		
5歳児 さくら組	飯島 美弥	副主任保育士	5歳児クラスリーダーおよび幼児統括リーダー	
	渡邊 恵	保育士		
	山田 沙織	保育士		
	伊集院 美幸	保育士		
一時保育室 ひよこ組	中原 詩織	保育士	一時保育室リーダー・発達支援コーディネーター	
	木下 直美	保育士	発達支援コーディネーター	
給食室	石栗 綾花	看護師		
	菅野 留美	副主任栄養士		
	横溝 ゆり	栄養士		
	柴垣 彩音	栄養士		
	矢澤 衣蒨	栄養士		

《柿生かきっこ保育園 職員》

担当クラス	氏名	職種	備考
	村上 佳代	園長	保育相談責任者・発達支援コーディネーター
0歳児 つぼみ組	上野 直美	副主任保育士	0歳児クラスリーダー
	上野 碧	看護師	
1歳児 ふたば組	白石 千晶	保育士	1歳児クラスリーダー
	渡邊 亜美	保育士	
	鈴木 ひかり	保育士	
2歳児 わかば組	武田 真美	保育士	2歳児クラスリーダー
	吉野 千晶	保育士	
	廣瀬 美奈子	保育士	

	松瀬 夏実	事務	
	宮森 宏美	事務	
	宮澤 織絵	用務	
すこやかこどもクリニック	小野木 恵子	園医	園児健診
安藤歯科医院	安藤 優	歯科医	歯科健診
柿生すずき内科	鈴木 宏行	産業医	職員健診・園の衛生管理の指導者

保 育 目 標

1. 元気のよい子ども
2. 心の豊かな子ども
3. やる気のある子ども

今年度の保育重点目標

- ・子どもの心(話や表情)に耳を傾け、気持ちを受け入れ子どもに寄り添う保育を心がけ、がんばろうとする子どもを支え、育てる
- ・飼育・栽培活動を通して自然とふれあい、興味・関心をもちながら 自然や命をたいせつにする子どもを育てる

子どもに接するとき、子どもの心の声や子どもの話に耳を傾け（傾聴）、気持ちを受け入れる。その時、「声かけ」ひとつで子どもの気持ちは変わってきます。自分の気持ちがうまく表現できない乳児にとってはなおさらのこと。何を求めているのかを理解して、笑顔でうなずき、「うん、そうだね。」とその**気持ちを汲み取って代弁**しながら語りかけてあげることで、安心感を育てていきたいと考えています。できたときもできないときもそれを受け入れ、年齢や発達、個々の子どもの特性に合わせた声かけについて職員の共通課題として考え、日々の保育に活かしていきたいと思えます。

乳児期から無条件に愛される体験を重ねて、安心できる人としっかりとした**愛着関係**ができたり、**自分は必ず助けてもらえるという体験**を重ねたりすることがたいせつです（**基本的信頼**）。乳児期のこの体験が、**安心感や信頼感となり、自己肯定感**を育てます。体験を重ね、幼児期になると安心できる環境のなかで**自律性**が身につき、**自主的**にがんばろうとする子どもを育てていきたいと思えます。

今、**非認知的能力**が注目されています。先が見通せないこの時代、新しいことへ挑戦するときには、**好奇心が豊かなことや失敗してもくじけずうまく乗り越えられること、必要なことに集中すること、我慢する気持ちなど（非認知的能力）**が必要となってきます。それらは、社会で生きていくためにたいせつな能力であると考えます。そのもとになるものが**乳幼児期に培われた愛着関係から生まれる自己肯定感であることがわかってきました**。もちろん「字が書ける」や「さかあがり」ができるなどの**認知的能力**もたいせつです。しかし、愛着形成は乳幼児期に培うたいせつなものです。そのことを念頭に置いて保育を進めてまいりたいと思えます。

もうひとつ、柿生保育園でたいせつにしていることは、広い園庭でのびのび遊ぶこと、季節の変化に興味・関心を持ち、自然や命をたいせつにする心（感性）を育てることです。毎年各クラスで子ども達が育てたい作物を話し合い、決めていきます。自分たちで育てた野菜は、苦手なものでも食べてみようという気持ちになります。砂遊びや水遊び、カブトムシやスズムシの飼育、米や野菜の栽培などの**原体験を通して、感じる心（感性）**を耕していきたいと思っています。

理念	子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す		
方針	豊かな人間性をもった子どもを育成する		
目標	1. 元気の子子ども 2. 心豊かな子ども 3. やる気のある子ども		
社会的責任	人権尊重	保育者等は保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられていることを認識し、理解する。	説明責任 保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しの良い状態を作ることで、一方的な「説明」でなくわかりやすく応答的な「説明」をする
	情報保護	保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は正当な理由なく漏らしてはならない。	苦情処理・解決 苦情解決責任者である施設長の下に苦情解決担当を決め、書面における体制を整備する。また、第三者委員を設置する。職員で共通認識を図る。
	健康支援	○健康発育発達状況の把握 ○異常時の対応（流行病・熱中症・怪我等） ○心身状態や家庭生活、養育状況の把握 ○睡眠時チェック ○健康、衛生集会の実施	環境・衛生管理 ○施設内外の設備、用具などの清掃（※特に感染症予防対策として検温、手指の消毒の徹底、遊具・玩具の消毒、室内の衛生管理に重点を置く。） ○各保育室酸性水噴霧器設置 ○給食業務衛生管理 ○毎月、職員の検便 ○プールの衛生管理 ○イベント時の食品衛生管理
	安全対策 事故防止	○毎月の避難訓練 ○不審者対応、防犯指導教室 ○交通安全教室 ○警察署との連携 ○遊具や園舎内外の安全管理及び自主点検、修理	研修計画 ○園内研修（ケース会議、保育内容） ○園外研修 ○研修報告
	小学校との連携	○就学前情報交換 ○保育要録 ○職員の学校訪問 ○年長児小学校見学 ○各小学校より掲示	地域との連携 ○アルナ園（特養ホーム）交流 ○園庭開放 ○一時保育事業 ○近隣中学校職業体験及び保育実習受け入れ ○近隣クリーン活動 ○ボランティア活動受け入れ（高校・大学） ○麻生区子育てフェスタ ○地域交流（夕涼み会・運動会・かきこまつり・移動動物園・どんと焼き）

年齢	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		幼児期の終わりにあたって
	生命の維持・情緒の安定	健康	生命の維持・情緒の安定	健康	生命の維持・情緒の安定	健康	生命の維持・情緒の安定	健康	生命の維持・情緒の安定	健康	生命の維持・情緒の安定	健康	
ねらい	生命の維持・情緒の安定	・保健的で安全な環境をつくり、常に生命の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。 ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食飲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、安心して過ごせるようにし愛着を育む。	生命の維持・情緒の安定	・健康で安全な環境をつくり、一人ひとりの身体の状態を観察し、睡眠など適切な休息をとらながら、快適な生活ができるようにする。 ・生理的欲求や甘えなどの依存欲求を受け止めて情緒の安定を図り、信頼関係を深めようとする。	生命の維持・情緒の安定	・健康で安全な環境をつくり、快適な生活リズムの中で、心身ともに安心して過ごす。 ・一人ひとりの子どもの気持ちを受容し、共感しながら自発性や探索意欲が高まようようにしている。	生命の維持・情緒の安定	・衛生的で安全な環境の中で心身ともに快適に安全な生活を送るようとする。 ・一人ひとりの子どもが自分の気持ちを表現できるように見守り、それを受け止めて、子どもが自信をもって生活できるようにする。 ・戸外遊びを十分するなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。	生命の維持・情緒の安定	・衛生的で安全な環境の中で安定して過ごせるようにし、積極的に健康増進を図る。 ・一人一人の子どもの気持ちを受け止めて、自己肯定感が育まれ、保育者との信頼関係が深まるようにする。	生命の維持・情緒の安定	・健康、安全に必要な習慣や自主協定の態度を身に付け、理解して行動できるようにし、就学に向けてより良い生活リズムを築ける。 ・一人ひとりの子どもが主体的に行動する姿を認め、自信や意欲を持って育つようにする。	キア自然豊かな心と体 生命イ尊重自立心 クウ数量同性 エ工標識徳性文・字模範意への関心 オケ社会生活による伝わり コ力豊かな感性 生表現
	健康	・一人ひとりに応じて授乳やオムツ交換をしてもいい、心地よく生活する。 ・離乳を進めるなかで、徐々に様々な食品に慣れ食べさせることを楽しむ。 ・安全で活動しやすい環境の中で、はう、立つ、歩くなど様々な身体活動を十分に行う。	健康	・安全で活動しやすい環境の中で、自由に身体を動かすことを楽しむ。 ・ゆったりとした雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう。 ・食事、排泄などを自分でしようとする気持ちが生ずる。	健康	・楽しく伸び伸びと生活し、自分から身体を動かすことを楽しむ。 ・和やかな雰囲気の中で楽しんで食事やおやつを食べる。 ・着脱、排泄など簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	健康	・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等、生活に必要な基本的な習慣が身につく。 ・身近な人と関わりを楽しむ、友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。	健康	・全身を使いながら身近な道具や遊びに挑戦し、積極的に遊ぶ楽しさを味わう。 ・健康で安全な生活習慣が身に付き、見通しを持って行動する。 ・友達と楽しく生活する中で、決まりの大切さに気付き守らうとする。 ・身近な人と触れ合い、思いやりや親しみをもつ。 ・身近な人物や自然現象に興味や関心をもってかかわり、発見を楽しんだり、考えたりして、それを生活に取り入れようとする。	健康	・様々な道具、用具を使い集団遊びや、やや複雑な行動を行うなど、色々な遊びを楽しむ。 ・健康、安全に必要な生活習慣を身に付け、その理由を理解して行動する。 ・友達の思いを受け入れたり、友達との違いを認めたりしながら、共通の目的を持って活動する。 ・異年齢の友達や地域の人々とかかわり、思いやりや親しみをもつ。 ・身近な人物や自然現象に興味や関心をもってかかわり、発見を楽しんだり、考えたりして、それを生活に取り入れようとする。 ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。	
内容	生命の維持・情緒の安定	・身体発育や健康状態を的確に把握しながら、一人ひとりの生理的欲求を満たし、保育者の愛情豊かな受容により、清潔で気持ちの良い生活ができるようになる。 ・オムツをこまめに取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じるようになる。	生命の維持・情緒の安定	・一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、一人ひとりの生理的欲求を満たし、安心して生活ができるようになる。 ・身体発育や健康状態の把握と、生理的欲求を十分に満たしてもらい、保育者の愛情豊かな受容で、気持ちの良い生活ができるようになる。	生命の維持・情緒の安定	・生活環境を清潔な状態に保つとともに、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようになる。 ・楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを持ち、嫌いな物でも少しずつ食べられるようになる。	生命の維持・情緒の安定	・保育者に様々な欲求を温かく受け止めてもらうなかで、保育者に親しみをもち、安心感をもって生活する。 ・食事、排泄、睡眠、休息など生理的欲求が適切に満たされ、快適な生活や遊びをする。	生命の維持・情緒の安定	・自分で自分の身体を清潔にしたり、身体の異常を感じたときには、保育士に知らせたりするなど、健康に必要なことを自分でする。 ・自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活ができるようになる。	生命の維持・情緒の安定	・健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の身体を大切にしたりするなどの気持ちや、自主的に行動することが出来るようになる。 ・就学への期待を持ち、主体的に活動する。 ・保育者との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活を過ごす。 ・食事の仕方やマナーが身に付き、体と食物の関わりに関心を持つ。	
	健康	・ゆったりと安心して遊ぶ雰囲気なか、保育者に抱かれてミルクを満足するまで飲む。また、個人差に応じた離乳食を食べ進めて、次第に幼児食に移行する。	健康	・楽しい雰囲気の中で、スプーンやフォークを使って食事を進める。 ・一人ひとりの排泄間隔を把握してもらい、トイレに誘ってもらうことで、トイレでの排泄に慣れていく。	健康	・落ち着いた雰囲気の中で、気持ちよく風を遊ぶ。 ・簡単な衣服は、一人で脱ぐことができるようになり、手伝わなくても自分で着ようとする。	健康	・保育者に援助されながら、生活に必要なことを行おうとする。 ・戸外で十分に体を動かしたり、様々な道具や用具を使ったりしながら遊びを楽しむ。 ・保育者と簡単なルールのある遊びを行い、遊びに必要な言葉や遊び方、ルールなどに気づく。 ・好きな遊びを繰り返し楽しむ中で、同じ遊びをしている友達に気づき、同じイメージで遊ぶ楽しさを味わう。	健康	・季節や活動ごとに変化する生活の流れに期待や見通しをもって行動する。 ・異年齢の子どもと親しみ、思いやりの気持ちを持ち、地域のお年寄りなど身近な人、いたわりの気持ちを持つ。 ・仲間とのつながりに心地よさや安心感を抱き、親しみが深まる。 ・自然や身近な人物、事象に触れ、驚いたり、感動したりして、興味や関心を深める。 ・具体的な物語を通して、数や量などに興味を持ち、簡単な数を数えたり、比べたりすることを楽しむ。 ・日常生活に必要なあいさつをし、友達との会話を楽しむ。			
教育	生命の維持・情緒の安定	・寝返り、はいはい、お座り、つかい歩き、立つ、歩くなど成長発達に応じた手や指を使った遊びを十分に楽しむ。 ・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発音や保育士とのやりとりを楽しむ。 ・保育者が歌や歌を喜んで聞いたり、歌やリズムに合わせて手足を動かして楽しむ。 ・保育者に見守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。	人間関係	・保育者のかかわりを十分楽しみ、保育者の体立ちにより他児との関わりややり取りを楽しんでいく。 ・登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びや、触る、たたく、つまむ、転がすなどの手や指を使う遊びを楽しむ。 ・保育者に見守られ、戸外遊び、一人遊びを十分楽しむ、好きな玩具や道具で遊ぶ。 ・自然物に自分から関わり、十分遊ぶ。 ・保育者の話しかけを楽しんだり、自分から片言でしゃべることを楽しむ。 ・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、絵本を見たり、また、身体を動かしたりして遊ぶ。	環境	・戸外遊びや道具で遊ぶ機会を多くして、基礎的な運動機能の発達を図る。 ・身近な小動物、植物、事象などに触れられたいとして、観察や遊びを体験し、楽しむ。 ・簡単なストーリーのある絵本や紙芝居を見て、歌ったり、踊ったり、手遊びを楽しんだりする。	言語	・保育者が仲立ちとなり、生活や遊びの中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育者と一緒に、水、砂、土、紙など様々な素材に触れて楽しむ。 ・簡単なストーリーのある絵本や紙芝居を見て、歌ったり、踊ったり、手遊びを楽しんだりする。	表現	・感じたことや思ったことなどを描いたり、歌ったり、身体を動かしたりして、自由に表現しようとする。 ・感じたことやイメージしたものを様々な材料や用具を使って自由に表現することを楽しむ。 ・感じたことや考えたこと、想像したことを様々な方法で自由に表現したり、友達と伝え合いながら感性を豊かにする。			
	健康	・発達に合わせ、落ち着いた雰囲気の中で授乳する。 ・個々に応じて離乳食を進める。	健康	・移行食を経て、幼児食になる。 ・様々な食べ物を見る、触る、味わう経験を通して意欲的に食べる。	健康	・食べないで食べる。 ・意欲的に食べる。 ・野菜の栽培や観察を通して食材への興味を育む。	健康	・食べる楽しさを知る。 ・野菜の栽培や収穫に関心を持つ。 ・基本的な食習慣が整うように意欲的に取り組む。	健康	・食事のマナーを理解して、楽しんで食べる。 ・野菜の栽培、収穫に関わる。 ・調理活動を行う（皮むき、混ぜる、こねる、など）			
家庭	・保護者との連携を密にして、子育てを援助していく。 ・生活リズムを丁寧に確認する。 ・健康状態など細やかに伝え合う。 ・離乳食の進め方について家庭と共に考え無理なく進める。		・懇談会、保育参観（参加）、個人面談の実施 ・成長している姿を分かりやすく伝えていく、また、個人差を理解できるように丁寧に話し合う。		・かみつき、ひっかけなどの受け止め方を保護者の気持ちに寄り添い考える。 ・子どもが心身の状況を把握し合い、自分ができる喜びを感じられるようにする。		・園と家庭との信頼関係に基づき日常生活の実体験の中で基本的な生活習慣が身につくようにする。		・子どもが安心して生活できるように、園と家庭で配慮し、主体的に行動する気持ちを育てていくようにする。 ・就学への期待、喜びを共有する。				
	・一人ひとりの発達状況や生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、くついで過ごせるよう環境を整える。 ・年齢や発達に合った保育を行うとともに、異年齢のかかわりを温かく見守る。 ・職員間の協力体制のもと、一人ひとりの子どもの情報共有、伝達を行い、家庭との密接な連携をとる。												

乳児保育のポイント

現在、0歳児つくし組（4ヶ月～11ヶ月）、1歳児ちゅうりっぷ組（1歳～1歳11ヶ月）
2歳児たんぽぽ組（2歳～2歳11ヶ月）の子どもたちがいます。

今年の乳児保育は、様々な『わ』を大切にしながら保育を行っていきたいと思います。

話 : 対話（会話）は心を通わせることができます。

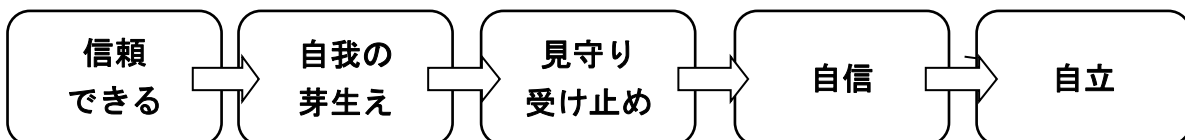
和 : 心を通わせることで気持ちが和み、心が開きます。

輪 : 開いた心が人と人とのつながりの輪を生みます。

一言一言に心を込めた対話を大切にし、
温かく大きな輪で子どもたちを見守っていきたいと思います。

この時期の子どもたちは『毎日が成長！！』一人ひとりの成長ぶりには感動の毎日です。
子どもたちの生活リズムには個人差があるので、一人ひとりに合わせた食事の援助、睡眠リズムを大切に
した保育を心掛けています。生活リズムが安定することで、十分に体を動かしたり、好きな遊びを見つけたり
しながら楽しく過ごすことができます。
一人ひとりの欲求を十分に満たしながら、生命の保持及び情緒の安定を図り、発達を援助しています。

この関わりが、人間の根っこ、基盤をつくるもととなり、



へとつながっていきます。

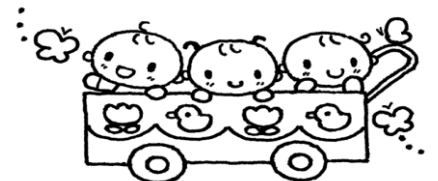
大人との安定した関わりの中で
居心地の良い安心できる環境の中で

《日々の生活》

- ・クラスの友だちや異年齢の友だち、大人と広がる人間関係
- ・自分でやってみようとする意欲
- ・自我の芽生え、自己主張を受け止めてもらいながら色々な約束事があることを知っていく

《幼児期になる頃には》

- ・友だちと遊びたくなり、喧嘩もするけど一緒に楽しい
- ・食事、排泄、着脱など身の回りのことが自分でできるようになる
- ・自分の気持ちを十分に表現することができる
- ・基礎的な運動機能が発達しバランスをとりながら動きのある運動遊びが楽しめる



豊かな心と身体が育ちます

幼児保育のポイント

みんなで色々な活動や遊びを楽しむ中で、自信や思いやりの心を育ていけるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら丁寧に援助していきます。

心身ともに健康でのびのび行動できる子ども



- ① 毎日楽しく過ごす・・・今日も楽しかった！と思える遊びの充実を図ります。クラスでの日々の遊び、異年齢での交流、季節ごとの行事などを通し、やり遂げた達成感やよろこびと自信、遊び込んだ満足感を十分に味わいます。
- ② 優しくたくましい心を育てる・・・友だちとの関わりやいろいろな経験を通して、相手の思いに気づき、認め合い、思いやりの心を育てます。その中で、周りの人のことも大切に思う気持ちや、信頼関係を築いていきます。
- ③ 地域との交流・・・・・・・・・・地域の親子やお年寄りの方との交流を図っていきます。アルナ園との交流、クリーン活動、行事への招待など、地域の方々との触れ合いなどに親しんでいきます。また、園庭開放などでも地域の方々に関わっていきます。（感染症拡大予防の観点から状況を見て実施していきます。）
- ④ 丈夫な身体と意欲を育てる・・・身の回りのことを自分で意欲的に出来るようにしていきます。自分のことを自分で行う喜びを感じ、自分の体にも関心をもち毎日心身ともに気持ちよく、意欲的に過ごしていけるように声かけをしていきます。
- ⑤ 自然に親しみ、生命の尊さを知る・・・身近な植物や生き物に触れ、さまざまな発見を楽しみ、大切にする中で命の尊さを知っていきます。花の水やりや野菜の栽培、お米作りなどを行い、世話をすることの大切さや収穫のよろこびを経験します。また、食べた時の美味しさや、喜びを味わい食物への感謝の気持ちも育みます。



異年齢児交流

※年齢のちがう子ども同士で遊ぶ機会が少ない今、貴重な「異年齢」体験の場になります。（感染症等の状況を見て、実施していきます）

○なかよしの日・・・3, 4, 5歳児と一緒に活動する機会をつくります。戸外遊びやゲーム遊び、年度末のお別れ会などを行い、「一緒に遊びを楽しむこと」「力を合わせること」「感謝の気持ちを伝え合うこと」などを様々な形で経験できるような機会を取り入れています。大切にしていきたい時間のひとつです。

☆また4・5歳児と一緒に芋掘りに行ったり、生き物係の仕事(水やり・虫の世話・落ち葉集め)に励んだりと様々な場面で力を合わせて幼児クラスならではの活動に取り組みます。

年下の子は年上の子に優しく接してもらうことで心地よさを知ります。そしてその経験から、自分たちが年上になった時に年下の子へどう関われば良いかということも自然と分かるようになり、思いやりの気持ちがさらに育まれていきます。年上の子も、年下の子から慕われることによって自信が培われていく姿も見られるようになり、子どもたちが互いに刺激しあい、遊びや生活に自信を持つようになります。



【年間保健目標】 ◎基本的な生活習慣を身につけ、健康に過ごす。



	1期(4・5・6月)	2期(7・8月)	3期(9・10・11・12月)	4期(1・2・3月)
目標	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れる 衛生習慣を身につける 事故防止について考える 正しい歯の磨き方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 暑さに負けず元気に過ごす 安全な環境の中で水遊びを楽しむ 活動と休息のバランス 夏に流行する感染症の早期発見 	<ul style="list-style-type: none"> からだの仕組みを知り、健康に関心を持つ 風邪を引かない丈夫なからだを作る 薄着の習慣を身につけよう 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整える 寒さに負けず元気に遊ぶ 成長の喜びを知る 進級・卒園に向けて
保健行事	<ul style="list-style-type: none"> 入園説明会 保育説明会、懇談会 身体測定、園医健診 歯科健診、歯の染め出し 予防接種の推奨 既往歴、予防接種調査(新入園児) 	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定、園医健診 シャワー浴、水遊び健康チェック表の記入 プール遊びの衛生管理 皮膚トラブルの予防 害虫対策 	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定、園医健診 インフルエンザ予防接種状況把握 インフルエンザ予防接種の推奨 目の健康について 嘔吐、下痢時対応の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定、園医健診 新入園児健診、面談 成長記録の整理 寒さや乾燥による肌荒れへの対応 嘔吐・下痢の感染拡大防止 心身ともに成長したことを確認する
集会	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止 	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症予防 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズム 	<ul style="list-style-type: none"> 風邪予防
配慮及び留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの健康状態の把握(体質、既往歴、発達状況など職員間での周知、理解) 環境の変化によるケガの発生に気を付ける 年齢に見合った活動しやすい衣服や靴サイズの確認、働きかけ 歯科健診の結果について家庭連絡 遊具の正しい使い方を知らせる 爪の点検、事故防止への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴、プールの温度・衛生管理及び事故防止 汗をかいた後の着替え とびひ について 虫刺され時の対策、虫よけスプレーの使用 熱中症予防、水分補給、冷房の使い方 家庭での食品の衛生管理 光化学スモッグ情報を受け、遊びや生活などに最善の方法で対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 命の大切さ(自分も友だちも) 早寝・早起き・朝ご飯の大切さを知り、幼児は自分で意識を持てるように働きかける 寒くなっても急に厚着にならないように気候や運動に見合った衣服を着る 自分の体の体調を伝えられるようにする 戸外遊びを充実させ体力の向上を図る 感染性胃腸炎、インフルエンザの流行拡大を防ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 寒さに負けず外気に触れて遊ぶ やけどに注意 室温・外気温に合った衣服で過ごす。 感染性胃腸炎、インフルエンザの流行拡大を防ぐ(手洗い・うがいの励行、室内環境の調整) 就学、進級に向けて成長したことを喜び合う。 髪、顔、手足、爪、肌着などの清潔に心がけるよう指導する。

日々の保健業務

<ul style="list-style-type: none"> 嘱託医からの指導、助言を受ける サーベイランスシステムへの入力 救急法、衛生講習会への参加 病欠児の状況把握 「けんこうてちょう」への記入 保健だよりなどでの情報発信 成長発達状態の継続観察(身体測定) 熱性けいれん歴や肘内障歴の把握と対応 	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種状況の把握と推奨 感染症罹患歴の把握 園舎内共有部分、玩具の消毒 保育中のケガによる受診と経過観察 保育中の体調不良時の対応 新入園児健診、看護師面接 職員の細菌検査に関すること(検便) 電解水による感染予防 	<ul style="list-style-type: none"> 除去食の誤食防止 定期的な害虫対策 冷房機器の清掃、メンテナンス 登園受け入れ時、日中の健康観察 SIDS 防止について確認、睡眠時チェックの徹底 子どもの疾病、傷害についての正しい理解と基本的対応の周知 乳児健診：2か月に1回 幼児健診：4か月に1回 身体測定：毎月10日健康の日(4.9月は頭囲・胸囲も測定)
---	---	---



保護者のみなさまへ

<ul style="list-style-type: none"> 衛生面を考慮して視診室への幼児の入室はできません。 こまめに爪のチェックをお願いします。 感染の予防(嘔吐物、便の処理について) 健康チェック表の記入(毎日の検温) 	<ul style="list-style-type: none"> 登園許可証明書を忘れずに 血液のついた衣服の扱いについて 身体のバランス感覚の育ち(怪我予防) 解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは自宅療養していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育所のご案内 肌着について(保湿・保温) PCR検査、抗原検査を受ける場合の連絡について 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の連絡 集団生活への理解
---	--	---	--

*新型コロナウイルス感染症流行等によっては、日程が変更されることがありますのでご了承ください。

令和5年度 食育年間計画

目標	食と健康: 空腹を感じるリズムある生活をおくる。 食と文化: 年齢に応じた食事のマナーを身につける。 いのちの育ちと食: 自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちをもって食事を味わう。				食と人間関係: 身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう。 食と料理: 身近な食材を使って調理を楽しむ。																				
0歳児	ねらい内容	3か月～概ね8か月		概ね9か月～概ね10か月(モグモグ期)		概ね11か月～概ね12か月(カミカミ期)		概ね12か月～概ね24か月(パクパク期)																	
	配慮	・安定した人間環境の中で、ミルクを飲み、心地よい生活を送る。 ・空腹感を受け止め、ゆったりとした環境で授乳を行う。 ・ミルクの量や授乳時間など、保護者と連携を取り合うようにする。		・保育園の食事に期待して、意欲的に食べようとする。 ・手づかみ食を大切に、自分で食べる意欲を育てる。 ・安定した姿勢が保たれるようにする。 ・子どもの成長や満足感・安心感を観察しながら、保護者と連携をもち、授乳や離乳食を調整する。 ・素材を活かし、風味程度の味付けにする。		・歯ごたえのある食材に慣れ、噛むことを身につけていく。 ・意図的に食事に関わろうとする。 ・空腹を感じるリズムを整える。 ・大きさや硬さを工夫して、食べやすいようにする。 ・手づかみやスプーンやフォークを使って楽しんで食べられるように、丁寧に関わる。		・発達に応じて幼児食に移行し、楽しい雰囲気の中で、会話を楽しみながら食事をする。 ・保育者を真似て、食事の挨拶をしようとする。 ・保育者が「いただきます」「ごちそうさま」などを言い、食事の挨拶を知らせていく。 ・楽しい雰囲気の中で「おいしいね」と声をかけながら、様々な食材を味わえるようにする。 ・薄味で調理する。																	
1歳児	ねらい内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月															
	配慮	・いろいろな味や食感を知り、保育園の食事に慣れる。 ・保育者や友達と楽しい雰囲気の中で、自分で食べようとする意欲を高める。		・「おいしいね」「カミカミ」等と優しく声をかけながら、食事の楽しさやおいしさが感じられるようにする。		・一人一人の体調に合わせて食べる量を調整して、楽しく食べられるようにする。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、必要な時には援助することで満足感が得られるようにする。		・咀嚼が十分に身につくように援助して、自分で食べようとする意欲を育む。 ・味や食材の好みが出てくることを認めながら、様々な味に慣れるように無理なく個々に合わせて対応する。		・食事に関わる語彙が増える。 ・器に手を添えて食べるようになる。															
2歳児	ねらい内容	・楽しい雰囲気の中で、友達や保育者と一緒に食事を楽しむ。 ・スプーンやフォークを正しく持ち、器を持ち上げて食べる。				・箸を使った遊びを取り入れながら、少しずつ箸の持ち方を伝えて、個々に発達に合わせて箸に移行していく。																			
	配慮	・個々に合わせた食事の量で、完食の満足感を味わえるようにする。 ・食器の正しい持ち方を、個々に丁寧に教える。				・適度な運動を促すことで、一定量を完食する満足感を味わえるようにする。 ・野菜の観察や栽培を通して食材への興味を育てていく。																			
3歳児	ねらい内容	・身近な人と会話を楽しみながら食事をする。 ・食事の準備から片づけまでの流れを知る。 ・野菜を育てながら、食材への興味を育む。				・食生活に必要な活動を行えるようになる。 ・収穫や野菜に触れることを楽しむ。 ・様々な食材があることを知り、自分が食べているものに関心を持つ。																			
	配慮	・一人一人が食べ物に興味を持ち、意欲的に食べようとする姿を受け止めて、自立心の芽生えを尊重する。 ・野菜の成長を適宜に捉えて、好奇心や思考力を育む。				・配膳や下膳が容易にできるように配置を整える。 ・育てた野菜を通して、食への興味や苦手な食材への意欲を育てていく。																			
4歳児	ねらい内容	・身近な人と会話を楽しみながら食事をする。 ・食事の準備から片づけまでの流れを確認し、自分で行えるようになる。 ・野菜を育てながら食材に興味を持つ。				・自分の食べられる量を知り加減を保育者に伝えられる。 ・育てた野菜を収穫し、給食で食べる事により苦手意識をなくす。 ・「旬」という言葉の意味を知る。																			
	配慮	・栽培について、子どもが日常的に生活の一部として捉えられるように継続して関わっていく。				・よく噛むことを伝えて、咀嚼力を育み満腹中枢の働きを促す。 ・こぼさない残さない意識を育てる。																			
5歳児	ねらい内容	・身近な人と楽しみながら、食事のマナーや正しい箸の持ち方で食べる。 ・野菜の栽培を通して、食材に命を頂くことを感じる。 ・時間に見通しをもって食べる。				・食べたものの栄養価を知り、食べ物と体の関係に興味を持つ。 ・旬の食材から季節感を味わうことを楽しむ。																			
	配慮	・箸の持ち方、食器の配置や持ち方、三角食べ等について確認や個々に丁寧に教えていく。 ・栽培を通して、命を頂くことや生産者の存在に気づき、感謝の心を育む。				・絵本や実体験を通して、食材が食卓にあがるまでの過程に関心を持てるようにする。 ・収穫後の土等の手入れも体験することで、サイクルを知るとともに環境について考える機会を持つ。																			
旬の食材	ねらい	季節の食材を取り入れ、旬のおいしさを味わう。																							
	食材	玉ねぎ・キャバツ いちご・清見柑	アスパラ・キャバツ さば	さやえんどう さば	なす・トマト・あじ オクラ・すいか	ピーマン・かぼちゃ きゅうり・メロン	さんま・しいたけ しめじ	里芋・さつまい りんご	れんこん・大根 ほうれん草	白菜・ごぼう ブロッコリー	がり・みかん カリフラワー	小松菜 でこぼん	菜の花・かぶ さわら・いよかん												
行事食	ねらい	各種行事の由来・意義等を伝え、食事に変化と楽しみや期待感を持つ。																							
	行事	春野菜を使った食事			七夕			十五夜・お彼岸			芋煮会			クリスマス会・冬至			正月・鏡開き・七草			節分			ひな祭り・お彼岸		
郷土食	ねらい	地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。																							
	献立				かるかん						五平餅						なら茶めし・けんちん汁								
職員の連携	ねらい	アレルギー対応のような異なった献立を摂っている子どもについて共通認識を持つ。																							
地域との連携	ねらい	行事への参加・園だより・ポスター掲示など																							
食育集会	ねらい	食材について・食べる時の姿勢				夏野菜に触れる				箸について・食事マナー				3色食品群											
	家庭との連携	・献立表配布・給食だより配布・食事調査(離乳食開始前・入園時) ・アレルギー調査																							

子どもたちの安全を守る取り組み

保育園生活の中で安全に対する意識を身につけ、子どもたちが安全に過ごせるように職員で研修・検討を積み重ね、年間を通して様々な取り組みを行っています。

(1) 避難訓練・・・年間で計画をたて、毎月15日前後に訓練をおこないます。

最初は『放送を聞いて保育者のところに集まる』という練習から始めます。毎月の訓練を重ねながら『防災頭巾をかぶる』『非常滑り台を使って避難する』と項目を増やし、子どもたちに不安を与えないように訓練を進めていきます。職員は水消火器を使用した消火訓練や消防署への通報訓練、安全な避難経路の確認をおこないます。避難の際は、保育者だけではなく、園内全ての職員が関わり乳幼児の避難の援助をします。

また、各クラスには非常時持出しリュックを配備、園内には非常用の備蓄食料を保管して災害時に備えています。

子どもたちがいかにして緊急時に混乱せずに指示を受け入れてくれるか・・・が安全な避難のポイントになります。

(例) 子どもたちに避難の方法を教える時は・・・。

◇頭部を守る⇒『だんご虫のポーズだよ』

◇煙の下方を移動する⇒『あひるさん歩きしてね』

◇災害時避難場所へ避難車や徒歩で行ってみる など



(2) 不審者対応訓練・・・年間で2回計画をしています。

① 保育中に不審者が侵入したことを想定して、放送により保育者の周りに集まり避難をします。不審者侵入時の職員の伝達経路や園児の安全を確保します。

ビックリマークの表示で危険が起こっていることを子どもたちに知らせます。

② 幼児を対象に「誘拐防止教室」の集会をおこないます。

『いかのおすし』を合言葉に知らない人に声を掛けられたらどうするのかなど保育者による寸劇を交えて対応の仕方などを伝えます。その後、園庭に出て不審者のパネルを使用しながら実際に避難の訓練をします。

訓練の内容に段階をつけることによって子どもたちに無理なく危険に対する意識が身につくようにしています。

※職員園内研修などで外部講師から防犯に関する内容を学びます。



(3) その他

- ・『交通安全教室』・・・県警より指導員がきます。(幼児クラス対象に実施)
- ・『安全管理チェック』(遊具や園内外環境のチェック) 5. 7. 10. 12. 2月(各年齢ごと)
- ・『事故防止チェック』(子どもたちへの保育内容) 4. 7. 10. 1月(各年齢ごと)
- ・保育中のケガや事故の報告書を見直し、傾向と対策を話し合います。
- ・園外保育の注意点や現地遊具の情報、危険箇所のチェックをし、職員に周知。
- ・救命救急研修に参加し、実践的な訓練をします。
- ・玄関にAEDを設置。職員を対象に心肺蘇生訓練の実施
- ・保護者の方への緊急時連絡メールシステムの導入
- ・非常時、警察への直通通報装置と防犯カメラの設置
- ・新園開園に伴う各種防犯強化
- ・一時保育室防犯強化



《令和5年度 柿生保育園 年間行事予定》

日時	行事予定	備考	日時	行事予定	備考
4月			10月		
3日(月)	進級式 入園説明会	在園児 新入園児	3日(火)	運動会通し練習	3.4.5 歳児
4日(火)	顔合わせ集会	3.4.5 歳児	7日(土)	運動会(雨天時8日) (8日雨天時→11日)	3.4.5 歳児 親子※
5日(水)	0歳児懇談会13:45~	保護者	12日(木)	誕生会	園児
6日(木)	1歳児懇談会18:15~		16日(月)~ 24日(火)	3歳児保育参観日及び個人面談※ 5歳児保育参観日※	保護者
7日(金)	2歳児懇談会18:15~		17日(火)	移動動物園(雨天時未定)	園児
10日(月)	3歳児懇談会18:15~		19日(木)	芋ほり遠足※	4.5歳児
11日(火)	4歳児懇談会18:15~		25日(水)~ 11月2(木)	4歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
13日(木)	5歳児懇談会18:15~		27日(金)	5歳児懇談会(18:00~)	保護者
15日(土)	誕生会	園児	11月		
15日(土)	保護者会総会・保育説明会 (中止となります) 保護者会役員会	保護者 保護者会役員	6日(月)~ 13日(月)	0歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
5月			12日(日)	かっさーまつり	親子
11日(木)	誕生会	園児	14日(火)~ 21日(火)	1歳児保育参観日及び個人面談※	
13日(土)	5歳児親子遠足(雨天中止)	5歳児親子	16日(木)	誕生会	園児
15日(月)~ 19日(金)	0歳児保育参観日※ 5歳児保育参観日及び個人面談※	保護者	22日(水)~ 30日(木)	2歳児保育参観日及び個人面談※	保護者
22日(月)~ 26日(金)	3歳児保育参観日※		*芋煮会 *焼き芋会(4.5歳児)		
29日(月)~ 6月2日(金)	2歳児保育参観日※		12月		
6月			5日(火)	保育発表会通し練習	園児
1日(木)	歯科検診(10:00~)	園児	9日(土)	保育発表会※	3.4.5 歳児 保護者※
3日(土)	保護者会役員会(夏まつりに向けて)	保護者会役員 夏まつり担当	14日(木)	誕生会	園児
5日(月)~ 9日(金)	1歳児保育参観日※	保護者	19日(火)	クリスマス会	園児
12日(月)~ 16日(金)	4歳児保育参観日※		28日(木)	年内保育最終日	
15日(木)	誕生会	園児	*アルナ園交流(クリスマス)		
28日(水)	プール開き	園児	1月		
*沐浴・水遊び健康チェック記入開始 *シャワー開始			4日(木)	保育開始	
7月			5日(金)	新年顔合わせ集会	園児
5日(水)	七夕集会	園児	11日(木)	誕生会	園児
6日(木)	笹燃やし	園児	12日(金)	どんど焼き	園児
8日(土)	夏まつり	親子	18日(木)	0歳児懇談会(18:00~)※	保護者
13日(木)	誕生会	園児	19日(金)	5歳児懇談会(18:00~)※	保護者
29日(土)	お楽しみ保育※	5歳児	25日(木)	3歳児懇談会(18:00~)※	保護者
*アルナ園交流(七夕)			26日(金)	4歳児懇談会(18:00~)※	保護者
8月			2月		
17日(木)	誕生会	園児	1日(木)	1歳児懇談会(18:00~)※	保護者
9月			2日(金)	豆まき集会 2歳児懇談会(18:00~)※	園児 保護者
2日(土)	保護者会役員会 (かっさーまつりに向けて)	保護者会役員 かっさーまつり 担当	6日(火)~ 13日(火)	作品展	保護者・園児
14日(木)	誕生会	園児	16日(金)	誕生会	園児
27日(水)	0歳児運動遊び Day※	0歳児	22日(木)	年長児お別れ遠足(バス・弁当持参)	5歳児
28日(木)	1歳児運動遊び Day※	1歳児	*新入園児健診・面談 *進級写真撮影		
29日(金)	2歳児運動会遊び Day※	2歳児	3月		
*アルナ園交流(敬老の日) *ふれあいコンサート			1日(金)	ひなまつり集会	園児
			2日(土)	保護者会承認総会	保護者

◎※印の行事については別紙(補足説明)をご確認ください。

◎*印は、日程が決まり次第お知らせいたします。

◎毎月、身体測定と避難訓練を実施します。

※感染症等の状況によっては、行事内容が変更する場合がありますので、何卒ご了承ください。

※毎月の園だよりや掲示をご確認ください。



令和5年度 柿生保育園 年間行事予定について（補足説明）

※春の保育参観について

・5月～6月に保育参観を行います。日頃のお子さんの様子をご覧いただく予定です。
参観方法につきましては、決まり次第、皆様にお知らせします。

※5 歳児お楽しみ保育について

・園生活最後の年を迎える年長児の思い出作りとして、7/29(土)に園舎内で「お楽しみ保育」を行います。土曜日の通常保育のお子様は、乳児室と2歳児保育室にて過ごしますので、ご協力の程、宜しく願いいたします。

※乳児(0, 1, 2 歳児)運動遊び Day について 《0 歳:9/27(水)、1 歳:9/28(木)、2 歳:9/29(金)》

・令和4年度同様、乳児クラスは平日の保育の中で「運動遊び Day」を行います。当日は保育者と一緒に、子ども達が様々な運動遊びを楽しみます。その様子を保護者にご覧いただく内容を検討しております。決まり次第皆様にお知らせいたします。

※幼児(3, 4, 5 歳児)運動会について

・10/7(土)の運動会は幼児クラス(3, 4, 5 歳児)で行う予定です。詳細内容や時間帯については感染症の状況を踏まえ検討しております。決まり次第、皆様にお知らせいたします。
・乳児クラスは、通常保育を行います。



※秋の保育参観および個人面談について(10～11月)

・10～11月に保育参観を行います。日頃のお子さんの様子をご覧いただく予定です。
参観方法につきましては、決まり次第、皆様にお知らせします。
・各年齢の期間内で保育参観と個人面談を行います。なお、5歳児はこの期間は保育参観のみとなります。

※芋ほり遠足について(4, 5 歳児)

・貸し切りバスに乗り「黒川東営農団地」にて4, 5歳児の芋ほり活動を予定しております。バス代は実費徴集させていただきますので、何卒宜しくお願いいたします。また、帰園後給食を食べますので、お弁当はいりません。詳しい内容は期日が近づきましたら改めてお知らせいたします。

※保育発表会について

・12/9(土)の保育発表会は幼児クラス(3, 4, 5歳児)の参加で表現遊びや劇遊び等を行う予定です。詳細内容や時間帯などについては感染症の状況を踏まえ検討しております。決まり次第、皆様にお知らせいたします。
・乳児クラスは、通常保育を行います。

※お別れ集会(全園児)について

・3/12(火)は園内で遠足の雰囲気味わう活動や遊びを行い、園庭または保育室でお弁当を食べます。全園児がお弁当持参となり、雨天の場合も給食がありませんので、この日はお弁当を忘れずにお持ちください。当日の活動内容や持ち物などの詳細につきましては、期日が近づきましたら改めてお知らせいたします。

※年度末懇談会について

・1月、2月に予定しておりますが、感染症の状況により日程が変更する場合がありますのでご了承ください。

◎各種集会について

(誕生会、衛生集会・七夕集会・クリスマス会・新年顔合わせ集会・どんど焼き・豆まき集会・ひなまつり集会など)

※ホールでの各種集会は、感染症等の状況を見ながら実施していきます。

乳児クラス 現在の様子

0歳児 つくし組

室内遊び♪



テラスで外気浴♪



ぐっすりお昼寝♪



初めての保育園生活。わくわくどきどきスタートしました。最初は涙がいっぱいでしたが、抱っこやおんぶをしながら、少しずつ好きな遊びや安心する場所が見つかり、笑顔も見られるようになってきました。毎日の成長がとっても楽しみです♡

1歳児 ちゅうりっぷ組



～室内遊び～



～みんなで体操～



～お外遊び～

みんなでお話を見たり、体操をしたりするのが大好き☆ホールやお外ではたくさん身体を動かして遊びます。指先を使った遊びにも挑戦！お友だちのお名前を呼んだり、同じ遊びを一緒に楽しんだり毎日楽しく過ごしています♪

2歳児 たんぽぽ組

みんなで手遊び♪



室内遊び



戸外遊び



体操♪



お友だちが大好き！一緒にお話を見たり元気いっぱい体操を踊ったり♪お買い物ごっこもお気に入りです！お外では、広い園庭でのびのびと身体を動かしたり想像力豊かに砂で食べ物を作ったり楽しんで遊んでいます。

乳児期は、大人との関わりが最も重要な時期です。信頼できる大人と愛着関係を築くことは、子どもたちの成長にとって大きな意味を持ちます。子どもたちの気持ちを優しく受け止めながら信頼関係を築き安心して過ごしていけるようにしたいと思います。



幼児クラスの保育のポイント

①毎日楽しく過ごす

「明日も楽しみ！」そんな気持ちを持って毎日を過ごし、自分の好きなことや得意なことを見つけてほしいと思っています！！



②優しくたくましい心を育てる

人との関わりの中で優しさを育み、がんばる心を積み重ねていきます。



③地域との交流

他園や警察署など地域の交流から人とのつながりを感じ、安心して過ごしてほしいと願っています。



④ 丈夫な体と意欲を育てる

健康に過ごすために大切なことを日々を通して伝えたり、栄養士や看護師の先生から集会で教えてもらったりしながら身の回りの事を自分で行っていきます。よく食べてよく寝てよく遊ぶことを大切に過ごしています！



⑤ 自然に親しみ、生命の尊さを感じる

実際に自然物に触れ、収穫する経験は子どもたちにとって宝物です！五感で感じたり、実際に育てたものを食べて味わったりすることで食物への感謝の気持ちが生まれ心も豊かに育れます。



異年齢児交流

季節ごとの行事やなかよしの日を通して交流を楽しんでいます。共に過ごす中で芽生える憧れの気持ちや思いやりの心を大切に育んでいけるよう、関わりを見守りながら仲立っていきたいと思います。



「保育園って楽しい！」と感じ、毎日を安心して過ごしてもらえるように、そしてみんなで様々な経験を楽しみ、自信や思いやりの心を育てていってもらえるように、一人ひとりの気持ちに寄り添ったお手伝いをしていきたいと思います。

健康集会



咳エチケットのポーズ
上手にできています！

咳をした時は約2m
くしゃみをした時は約3m
ばい菌が飛ぶことを
テープを使用し伝えました。



野菜の収穫

保育園では夏に子どもたちが野菜を育て、収穫しています。野菜は給食室で調理し、昼食に提供しています。苦手な野菜も、自分で育てた野菜なので頑張って食べる姿が見られました。



保育園で
収穫した野菜

他にも...
オクラやラディッシュなども
栽培・収穫しました!



きゅうりは
にがてだけど
がんばって
たべてみるよ

とっても
あかい
とまとだね!



オクラが
はいた
おみそする、
おいしいよ!



食育集会(幼児)

3～5歳を対象に、食育集会を行っています。基本的なマナーである「正しい姿勢」や「お箸の使い方」について伝えたり、カルシウムや3色食品群などについても取り入れています。これらの活動を通して、食材や自分の体について興味を持てるようにしていきたいと考えています。

【3色食品群について】



食材には「**体を作る**」「**力のもとになる**」、「**体の調子を整える**」といった働きがあり、バランスよく食べることの大切さを伝えました。



イラストを使い楽しく学ぶことができるように工夫しています。



【カルシウムを多く含む食材について】



カルシウムの量を骨のイラストに例え、カルシウムは骨を強くすることを伝えました。



【正しい姿勢について】



食育集会(乳児)

2歳児クラスでは、「野菜に触れてみる」という体験をしました。普段給食に出てくる人参や玉ねぎやさつまいも、小松菜などを触ったりにおいをかいたりして、何の野菜か当ててもらいました。また、食具の正しい持ち方の練習もしました。スプーンだけでなくお箸の使い方も伝えていきます。

【野菜の皮あて】



さつまいもの皮をピーラーでむいてみるよ！
中身は何色かな…？



たまねぎの皮をむいてみよう



「こまつな」おおきいね！



野菜の皮をちぎったりにおいをかいたり楽しみながら野菜に触れることができました



【食具の持ち方】



子どもたちが大好きなカレーでスプーンの練習をしました。下手持ちで食べてみよう！



調理保育

令和4年度は調理保育としてピザトースト作りを行いました。1人1枚食パンにケチャップを塗り、野菜やチーズなどの具をのせました。苦手なピーマンなども自分で作ったことにより「美味しいね！」と嬉しそうに食べていました。今後も感染症対策を行いながら調理保育を行い、活動を通して食に興味を持ってもらいたいと思います。



栄養士から作り方の説明を聞きます。

ケチャップをスプーンで塗り
広げます。端っこまで塗れる
かな？



具材はたっぷりのせました！！
(ピーマン、玉ねぎ、コーン、チーズ、マッシュルーム)

どうやって
のせようかなあ…



完成！自分で作った
から美味しいね



子どもの食事について

健やかな成長のために栄養摂取は欠かせません。そのためとにかく食べさせなければ、とってしまう事もあると思います。しかし、子どもの食べる意欲は、食べ物を見たりにおいをかいたりして興味を持ち、感覚的に興味を持つところから始まります。乳児期から幼児期にかけて様々な経験を繰り返すことで食への興味が生まれ、食べる意欲が育まれていきます。様々な経験をさせながら見守っていきましょう。

乳児

においを
嗅ぐ

口元に
運ぶ

ものを
つかむ

食べものを
見る

なめて
味を
確かめる



ステップアップ

試行錯誤を重ね
食べる意欲が生まれる

幼児

調理の過程
を見る

食材に
触れる

体験する



食事における3つのポイント

子どもの様子を見ながら、
楽しく食事をしましょう！



子どもの発達に 合った食事を

こどもは自ら意欲的に行動することで向上心が育ち、発達が促進されます。**自ら食べたくなる環境**を整えましょう。

例) 0～1歳には手づかみ食べができるような切り方で与える

栄養バランスを 気にしすぎない

1食ですべての栄養を摂取することにこだわらず、昼食でとれなかった栄養をおやつで補うなど、**1日の中でバランスがとれていれば**よしとしましょう。

楽しく食べる 心を育てる

大人が無理に食べさせようとすると、子どもの食べる意欲が失われてしまうことがあります。**コミュニケーションを取りながら、**楽しい時間にしましょう。

子どもたちの安全を守る取り組み ～命をまもる土台作りを～

避難訓練

年間計画を立て、毎月一回避難訓練を行います。

水消火器を使った消火訓練

全園児園庭へ一時避難



非常滑り台を使っての避難



全職員、水消火器訓練を年間で行い、いざという時に対応できるように訓練しています。

不審者対応訓練

ビックリマークの表示を出すことで、危険なことが起きていることを知らせています。



知らない人が近づいてきたら先生のところへ集まりましょう



誘拐防止集会

～保育者による
子どもの不審者対応訓練～

いかのおすしの
パネルシアター



『いかのおすし』を
合言葉に、知らない人に
声を掛けられたらどうする
のか、保育者が大人と子ども
も役になり寸劇をしながら
対応の仕方を伝えます。



交通安全教室

右見て左見て
もう一度右見て



手は、しっかり伸ばして
あげましょう。



手をあげて
渡りましょう。



これからも...安心、安全な環境づくりを心掛けます